

ブルネイ・ダルサラーム国へ防火・防災管理の専門家を派遣 ～専門家派遣事業を活用した海外との情報交換～

シンガポール事務所

2014年2月9日から21日の2週間にわたり、ブルネイ・ダルサラーム国で専門家派遣事業を実施しました。今回は、同国内務省消防救助局の要請を受け、防災計画や防火管理の指導を行うため、千葉市消防局の根本昌史専門家が派遣されました。

1 日本とブルネイ・ダルサラーム国との関係

ブルネイ・ダルサラーム国の国土面積は5,765 km²で、人口39.9万人の小さな国ですが、豊富な石油と天然ガスに恵まれ、1000年以上前からアジアの海上交通の要衝として栄えました。1人あたりのGDPは世界で20位、アジアではシンガポール、日本に次いで第3位です。ブルネイ・ダルサラーム国にとっての最大の輸出国は日本であり、特に天然資源は全輸出の45%を日本に輸出しています。また日本とは1984年に外交関係を樹立して以降、活発な要人の往来を行っています。今年は二国間の外交関係樹立30周年にあたり、経済・文化等の幅広い分野における交流事業が予定されています。しかし、同国には自治体がないこともあり、まだまだ日本との地域レベルの交流は進んでいないのが現状です。



ブルネイ・ダルサラーム国への専門家派遣事業は2008年に始まり、今回で4回目の実施でしたが、本事業が同国の地元新聞に取り上げられるなど、多くの関心が寄せられました。

2 日本の防火・防災管理の知識を伝授



参加者からの質問に答える専門家

今回の専門家派遣事業では、ブルネイ・ダルサラーム国の災害対応能力の更なる向上を目的に、同国首都バンダル・スリ・ブガワンにある内務省消防救助局の職員約20名に対し、専門家から日本の防災管理制度の講義や実技の指導を行いました。同国においては、地震や津波はありませんが、洪水、火災、水難事故が発生しています。受け入れ先の消防救助局は、シンガポールへの職員派遣研修や同国との共同訓練を実施

しており、参加者は多様な知識を持ち、技術にも精通していました。専門家が、日本の大

火災の事例や消防機関による立入検査・措置命令の規定の紹介をした際には、多くの質問が寄せられ、お互いの国の課題や先進的取り組みについて理解する有意義な機会となりました。

また、同国では住民の防災意識の向上に努めており、日本の啓蒙活動や消防団制度について高い関心を示していました。

3 相互の伝統文化の理解と技術支援

ブルネイ・ダルサラーム国には、首都バンダル・スリ・ブガワンを流れるブルネイ川の河口に、世界でも最大規模の水上村落（カンボン・アイール）が存在します。高さ2メートルほどの柱が水面から無数に伸び、数千戸の住宅、学校、モスクなどを支えています。電気や水道のインフラも充実しており、約4万人が暮らしています。本事業では、この水上村落にある小学校を視察し、専門家からは防災用品の定期的な点検や誘導表示の設置など、すぐできることから取り組むように指導がされました。その他ショッピングモールや病院等の施設を視察し、日本の設備等を紹介しながらそれぞれの場所でアドバイスをしました。

また、ブルネイ・ダルサラーム国が現在作成を進めている「防火管理マニュアル」について、専門家から、同国の歴史や文化をふまえつつ日本のものと比較しての意見が述べられました。今後、同国では専門家の意見をもとにさらなる検討を進めていく予定です。



水上村落（カンボン・アイール）の小学校



修了証書授与式後の参加者との記念撮影

4 最後に

クレアでは、消防に限らず、アセアン各国及びインドの自治体の要請を受けて、農業、環境、都市計画などの32分野で、日本の自治体から専門家の派遣を行っています。専門家として自治体職員の派遣を派遣することは、受け入れ国への知識や技術の指導だけではなく、自治体にとってもアジア諸国との有意義な情報交換の場となり、将来の両国の懸け橋となることが期待できると実感しました。

（宇佐所長補佐 宮崎県派遣）

【自治体国際協力専門家派遣事業に関するお問い合わせ先】

財団法人自治体国際化協会交流支援部経済交流課

電話：03-5213-1726